YONEX RELEASE

世界を見据えたジュニア支援プロジェクト YONEX VAMOS・J 中四国キャンプ開催レポート

2013年6月7日(金)~9日(日)



ヨネックス株式会社は、将来にわたり世界で活躍する選手の育成を図るヨネックスのジュニア支援プロジェクト『YONEX VAMOS・J2013 中四国キャンプ』を6月7~9日に小豆島で開催しました。天気にも恵まれ、戦績および将来性を考慮して選ばれた子供達は2泊3日のキャンプで多くのことを学びました。

開催レポート@中四国地区(オリビアン小豆島)

6月7~9日の中四国キャンプでは計32名が参加し、オンコートクリニック、セミナー、 試合からテニスを勉強しました。

本年のオンコートクリニックでのテーマは『Accuracy:精度』。ショットの精度を上げるべく、ラケットのスウィートエリアにボールを当てることや、正確にポジショニングをとる練習などを行いました。また、昨年度のテーマ『スピード』を活かしてボールをヒットするために、身体の動きをコントロールするトレーニングを重点的に行いました。

セミナーではワールドジュニア (14 歳以下) 日本女子代表監督中山芳徳氏が、情熱を持って取り組むことの重要性とテニス選手としての行動について講義し、グループディスカッションではテニスの上達に必要な要素について話し合いました。子供たちの積極性が見られ、充実した3日間となりました。



試合後、積極的にアドバイスをもらいに行く子供たち。



セミナーではキャンプで学んだことを活かし、テニス の上達に必要な要素について考えました。

YONEX VAMOS · J 概要

YONEX VAMOS・Jは、中学1、2年生のクラスと小学生のクラスを対象に試合とクリニックを融合させたキャンプを実施。スキルカ、実践力の養成を後押する「日本における、日本人コーチによる、日本人選手のための育成システム」です。

<YONEX VAMOS・Jの意味>

VAMOS: スペイン語で「前へ、先へ」 **J**: Junior、JAPAN の頭文字

<活動目的>

- 〇テニス競技の普及・発展
- 〇日本人選手の育成・強化
- 〇トップ選手育成システムの確立

<キャンプ概略>

種目/参加人数:中学1、2年生のクラス、小学生のクラスの男女シングルス/各ブロック最大 32名

地域ブロック:北海道、東北、北信越、関東、東海、近畿、中国/四国、九州 計8ブロック

活動内容: 2泊3日の合宿。オンコートクリニック、セミナー、試合など

地域ブロック選手選考方法: 2011 年度以降の JTA 公認全国大会地域予選シングルス出場経験者の中から、プロジェクトスタッフが戦績および将来性を考慮し選考。

〈コーチングスタッフ〉

スーパーバイザー:小浦猛志氏(日本テニス協会常務理事)、

畠中君代氏(ビッグKテニス代表取締役/校長)

ヘッドコーチ: 竹内映二氏(前デビスカップ日本代表監督)

プロデューサー:中山芳徳氏(ワールドジュニア(14歳以下)日本女子代表監督)

コーチングプロスタッフ: 坂本真一プロ、兼城悦子プロ、辻野隆三プロ、長塚京子プロ、

本村剛一プロ、岩渕聡プロ、吉田友佳プロ、白田浩史コーチ、

五藤健介コーチ等

トレーナー:田島孝彦氏、金子和宏氏、林本悠氏 ディレクター:二本松一(ヨネックス株式会社)

アシスタントディレクター:首藤康一、宮坂元人(ヨネックス株式会社)

プロコーチングスタッフコメント

◆吉田友佳プロコーチ(小学生女子担当)

このキャンプのいいところは、素晴らしいコーチやトレーナーから指導を受け、切磋琢磨して技術を高められること。今回小学生女子を担当しましたが、セミナーでは沢山意見を出していて、やる気とか一生懸命取り組む姿勢はすごく持っていると思います。参加して学んだことをこの一瞬だけではなく、日々の練習に活かしてください。何度も繰り返し行うことで身につきます。

◆小浦猛志氏 (日本テニス協会常務理事)

3年目に入ったバモス。経験豊かなコーチ陣が世界最新の情報を小学生にも理解できるようわかりやすく指導し、子供たちが一生懸命学ぶ充実のキャンプです。中四国地区の子供たちをみると、ホームコーチの熱心さが伝わってきます。金子コーチのセミナーにもありましたが食事は本当に重要です。何をどれだけ食べるかで身体は変わってきます。試合でパワーを発揮するためにも普段からバランスのいい食事を心がけたいものです。